

## あいさつが大切

新学期が始まり2カ月が経とうとしています。50分6時間の授業再開後の中間考査の結果はどうでしたか。存分に力を発揮できた人もいれば、反省をしている人もいます。大切なことは次にどうつなげるかです。



例えば、勉強時間をあと30分だけ多くしていたら、授業中にもう少し集中していたら、分らないところを先生に聞いていけばと**振り返り、次につなげることが重要**です。先生方も皆さんのやる気スイッチの場所を常に探しています。皆さんも、5回中のたった1回のテストで、苦手、不得意な科目と決めつけず、あきらめずに頑張ってくださいね。

さて、話は変わりますが、先日の日曜日に**2年A組の電気科生徒全員が電気工事士の試験に挑戦をしました。**



今年の全員受験に向けて担任の榛葉先生や電気科長の田中先生をはじめ、電気科の先生方が昨年度末、年度当初から補講を継続的に実施し、電気科生徒もその期待に応えるように頑張ってきました。団体戦として臨んだ勉強はどうでしたか。きっと、

**とことん付き合ってくれる先生、一緒に勉強する友達の存在は大きく感じたのではないのでしょうか。結果が全てではなく、頑張ったプロセスも大きな学び**です。この経験はとてつもなく大きいですよ！皆さん、「Good Job!」

## ぶらり、あらこう散歩

【全日】体育祭の朝練が木曜日の朝から始まりました。初日は7時半に1年E組、3年E組の生徒が集まり大縄の練習を開始。**3年生も初めての体育祭**な



のに準備から練習開始までスムーズに。その姿を見ながら1年生も一生懸命に準備し練習開始。クラスとして団結する機会は大切ですね。**ここに一人一人の居場所がある**と感じました。朝早くからの活動でご迷惑をおかけしている近隣住民の皆様、生徒の活動を支え、汗をかく小林先生、三浦(義)先生！感謝します。



【定時制】「人間と社会」に荒川ボランティアセンターの鈴木センター長と柚木崎さんをお招きし、**「災害時に専門高校生としてできることを考える」**を実施しました。荒川区は平たんな土地なので、台風などの水害被災時には5mぐらい浸水する可能性があるとのこと。水が引けるまでの2週間、避難所に指定されている荒工で専門高校生に何が

できるかを考えました。お年寄りや、小さな子供も安心して生活できるよう、明かりやベッド、パーテーションなど**専門的な学びを生かした提案**がいくつも出てきました。**専門的な学びは、ものを作り出す自信となり思考につながる。**

期待しているぞ！荒工生！

**「未来を創る！彩る！荒川工業」**